

歯科材料 3 義歯床材料
管理医療機器 義歯床用短期弾性裏装材 JMDN 34769000

ハイドロキャスト plus

【禁忌・禁止】

本品又はポリエチルメタクリレート重合体、脂肪酸系可塑剤、アルコール類に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

〔構成〕

構成	成分
粉	ポリエチルメタクリレート、 過酸化ベンゾイル、二酸化チタン、 フタル酸ベンジルブチル
液	フタル酸ベンジルブチル、 エタノール、アセトン
ハイドロキャスト plus フローコントロール	医療機器製造販売届出番号 13B1X00004000218

〔原理〕 本品は、粉と液を混合することによりゲル化する。

【使用目的又は効果】

義歯床の粘膜面に裏装し、粘膜調整又は機能印象を目的に短期的（暫間的）に使用する。

【使用方法等】

詳細は取扱説明書を参照すること。

〔使用方法〕

1. 粉と液（1.4 対 1）を付属のメジャリング・バイアルを使って計量する。
2. 付属の攪拌用グラスに液を入れる。
3. 粉を加えスパチュラで手早く（5 秒間）攪拌し、練和する。これにより滑らかなクリーム状の混合物が得られる。
4. プラスチック製ラップか、中が見えるガラスで容器を覆い、そのまま室温（5℃～27℃）で 5～7 分間放置し、稠度を確認する。
5. 患者の口腔内及び義歯をよく観察し、必要に応じて粘膜面を削合する。
6. スパチュラで巻き上げた混合物を所用の箇所塗布する。
7. 混合物が多少硬化したら、患者の口腔内に注意深く義歯を挿入し、患者に静かに咬頭嵌合位で噛み合わせ、2～3 分間楽な閉口位をとらせた後、中心位で義歯の咬合関係をチェックする。スタッフとの会話や、大きい声を出して 2～3 分間文章を読む等機能的運動をさせる。
8. 義歯を取り出し、義歯床辺縁部に流れ出た混合物の余剰部分をエバンスナイフ等で除去する。
9. 義歯の粘膜面を良く調べ、混合物が薄くなっている部分は技工用カーバイドバー等で削り、新たに混合物を一層盛ってから再度装着する。
10. 混合物を口腔内に装着してから 24～48 時間後に患者を来院させ、義歯の床下粘膜や義歯床粘膜面を観察する。混合物の余剰部分の除去、義歯が粘膜にあたる部分の削除、混合物の追加等を行い、再調整する。
11. これらの再調整を繰り返すことによって、粘膜組織の調整、または機能印象の採得が行える。
12. 粘膜調整、機能印象が終われば、通法よりレジン床に置き替える。

〔使用方法に関連する使用上の注意〕

1. 液及びハイドロキャスト plus フローコントロールは、使用後速やかに蓋を閉めること。
2. 混和物の過剰の塗布は、咽頭部への流れ込みの原因となるので避けること。反射機能の低下している患者（高齢者など）の場合には、鼻呼吸を命じて気道が閉じていることを確認して使用すること。
3. 上下顎同時に行う時には、上顎を先に裏装し、次に下顎の裏装を行い、最後に義歯が安定する位置を患者自身に決めさせること。
4. 混和時にあまり早く攪拌すると、気泡を巻き込み口腔内での面荒れの原因となるので、ゆっくりと気泡が抜けるように行うこと。

【使用上の注意】

詳細は取扱説明書を参照すること。

〔使用注意〕

1. 液は可燃性なので、火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。また、テーブル、床などにこぼした場合には、すぐに乾いた布でよく拭き取ること。
2. 適切な換気（1 時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用すること。
3. 採取した印象は、血液、唾液などを十分洗浄後、必要に応じて消毒すること。
4. 混合物の義歯床からの除去作業の際には、保護めがね、手袋などを使用し、切削物の飛散又は付着に注意すること。

〔重要な基本的注意〕

1. 本品の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には、使用を中止し、直ちに医師の診断を受けさせること。
2. 本品または記載の成分に対して発疹、皮膚炎などの過敏症状の既往歴のある術者は、使用しないこと。
3. 本品を皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。皮膚に付着した場合には、すぐに流水で洗浄すること。目に入った場合には、すぐに多量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けること。

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

高温、多湿、直射日光、火気等を避けて、室温（5℃～27℃）で保管すること。

〔有効期間〕

3 年（製造元データによる）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 東京歯科産業株式会社
電話番号 03-3831-0176 (代)
製造業者 デンツプライコーク
(DENTSPLY Caulk)
国名 アメリカ合衆国

取扱説明書等を必ず参照ください。